

7 授業の実際と考察

(1) 実際に綾子舞に携わっている人の資料や動画を提示することは、綾子舞に関わる人の思いをより確かに読み取ることにより有効に働いたか。

本時では、綾子舞に関する資料や動画を提示し、継承している人の気持ちに気づかせようと考えた。理由を付けて自分の考えを話す場として、ペア活動を設定した。全体では、次のように話し合った。

- T1：みんなはつまらないと思っている綾子舞だけど、どんな思いで残そうとしているのか予想してみよう。
- C1：外国の人は自分の国にはないおもしろい文化だと思うから。
- C2：500年前から続いている伝統的なものだからその歴史を残すため。
- C3：これまでずっと頑張ってきたことだから残したいのだと思う。
- T2：綾子舞をしている人たちの動画があるから見てみよう。どんなことが言われていたかな。
- C4：踊るのが好き。着物が好き。
- C5：ユネスコに登録されて、世界に発信されたから、自分も世界に発信したい。
- T3：綾子舞をしている学校から文集を借りてきたよ。感想文が書かれていたから読むね。
- T4：実際にやってきた人たちの気持ちが隠れていると思うのだけど、どんな思いだと思う。
- C6：綾子舞をやる喜び、責任感が湧いてきた。引き継ぐことの大切さがある。
- C7：国の宝、失くしてはいけない。つないでいかないと伝統が途切れる。引き継ぎたい。



資料や動画から綾子舞に関わる人々の思いを予想する児童



綾子舞に関わる人々の思いを発表する児童

綾子舞に携わっている人の資料や動画を提示する前は、C6、C7、C8の予想のように、綾子舞に関わる人の気持ちに寄り添った意見ではなく、第三者的な意見が出ていた。しかし、提示した後は、C11、C12のように、当事者の思いに迫る発言が見られた。

このことから、実際に綾子舞に携わっている人の資料や動画を提示することは、綾子舞に関わる人の思いをより確かに読み取ることにより有効に働いたと考える。

しかし、綾子舞に関わる人の思いを読み取ることができずに固まっている児童の姿も見られた。資料を拡大して見やすくしたり、動画を繰り返し見たり、一時停止したりと、教師が資料や動画の見せ方をより工夫する必要があると感じた。

(2) 授業における興味・関心を引き出すための気付き、改善策について

前時までには、綾子舞とはどういったものなのか、綾子舞の概要、歴史について学習し、本時では、綾子舞に関わる人々の思いについて考えた。本時の導入において、ほとんどの児童は綾子舞に対しての興味・関心がなく、他人事として捉える回答が多く見られた。これは、教師が、前時までの授業で綾子舞の概要や歴史的背景を上手く児童に伝えられなかったのが原因だと考える。多くの児童が興味をもてるような課題設定、発問の工夫が足りなかった。また、そのためにも単元全体を見据えた指導計画を立てる必要があった。

(3) 成果 (○) と課題 (●)

○社会科において、資料や動画を提示することは、当事者の思いをより確かに読み取ることにより有効に働いたと考える。

- 資料や動画の見せ方で児童の課題に対する理解度が大きく変わる。したがって、資料や動画の提示の仕方を工夫する必要があった。
- 児童の興味・関心を引き出すためには、発問や課題を精選する必要があった。そのためにも、単元全体を見据えた指導計画を立てる必要があった。